

研究課題番号	4RF-1802
研究課題名	小笠原諸島における殺鼠剤散布が野生動物に及ぼす影響の解明
研究実施期間	平成30年度～令和3年度※
研究機関名	北海道大学
研究代表者名	中山 翔太

※新型コロナウイルスの影響のため、令和2年度より延長

1. 委員の指摘及び提言概要

小笠原諸島では貴重なカタツムリ等を保護するため、外来ネズミの駆除が求められているが、殺鼠剤の非対象生物への影響について、本研究は貴重な科学的知見を提供した。現地の関係者とも良好な関係を構築し、円滑に研究を実施したことも、今後の研究や行政への貢献につながるものとして高く評価したい。この知見をもとに、地理条件や環境条件に適した殺鼠剤散布手法のマニュアル作成がおこなわれることを期待する。当初の目的は達成されたと思われるが、今後はフィールドでの観察を併用し、総合的な実態解明と対策の検討を進めることが望ましい。サンプル数の妥当性や、個体差、近縁の種間の差の評価などについて、より詳しい説明が報告書などで述べられているとよかった。

2. 採点結果

評価ランク：A